



No.3576

第3894回例会
令和7年11月12日OBIHIRO ROTARY CLUB
DISTRICT 2500

会長 飛岡 抗

方針『夢をはぐくむロータリー』

2025-26年度国際ロータリーのテーマ よいことのために手を取りあおう

■会長報告



飛岡 抗 会長

皆さん、こんにちは。何か秋の紅葉もあつと言う間に通り過ぎ、もう冬に突入ですね。

峠は真っ白でアイスバーンとなってますのでご注意ください。

本日の例会は、ロータリー財団委員会による「寄付の種類に関する講話」です。ロータリー活動の根幹の1つである寄付に関して会員各位への理解促進に向けて寄付の種類に関する講話を委員会にお願い致しました。また、昨年同様、皆さまには財団への寄付ご協力をよろしくお願いいたします。

ガバナー月信からで、釧路北ロータリークラブから女性だけの衛星クラブ誕生の報告がありました。その名も、釧路北ルミナス衛星クラブで、新クラブの誕生で会員数が増加します。目的は、佐渡ガバナーの重点目標である「会員数増強」の一環でもあります。会費を抑え、参加しやすい仕組みとすることと、より多くの女性の視点で、これからのロータリーを考えてほしいという佐渡ガバナーの想いもこもっています。因みに、日本で女性だけは初めての試みで、チャーターメンバーは、足立パストガバナー令夫人柳理(リリ)様をはじめ、計10名のメンバーでスタートとなります。「ロータリーをもっと身近に、もっと自由に」多彩な女性たちの力で、これからどんな広がりが見られるのか今後期待したいと思います。

もう1点は、出席率の低下です。以前お話しましたが、出席委員会で1年に1回はホーム100%にしたいと思っております。9月帯広RCは、61.3%で、最高は第1分区の豊富が100%です。第6分区では、芽室の75%、帯広南が71.02%となっております。欠席されている方へ伝えたいことは、例会参加は、ロータリアンとしての義務で、多くの素晴らしい仲間と語ることから始まるということです。ロータリーの友から2025年度グローバルサポートセミナーで、ジョン・ヒューコ国際ロータリー事務総長が語ったロータリーの現状と未来についての内容からです。ポリオ根絶はロータリーにおいて代表的な活動の一つですが、「現状は?」「いつ頃の根絶が見込まれますか?」世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)では、2029年末までに根絶を目標とする戦略を掲げています。ポリオは現在、アフガニスタンとパキスタンの2か国のみで発症が続いており、これらの国は紛争、不安定な治安、大規模な移動、及び他の保健優先事項との競合といった課題に直面しています。2024年には、これら2つの国でポリオ症例の合計は100件未満でした。ポリオで麻痺が生じた子供たちの多くは、これら2か国の国境沿いに集中して居住しています。アメリカでの変異型ポリオウイルスの発生に関しては、進展が見られており、2022年以降、症例は毎年減少していて、24年には22年比で50%以上減少しています。最後に、ロータリアンへのメッセージとして「地域社会に深く根差しているロータリーは、世界でよいことをするための力です。私たちは引き続き、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、平和、親善、世界理解を推進していきます」と語っておられました。

本日は、ガバナー月信・ロータリーの友から事務総長のお話をご紹介して会長報告とさせていただきます。

■会務報告

池田 健太 幹事

①帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月18日(火)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

※尚、11月17日(月)の繰下げ例会と致します。

②帯広南RC、11月24日(月)は祝日振替のため休会と致します。

帯広東RC、11月25日(火)は休会と致します。

帯広北RC、11月28日(金)は休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月27日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

④帯広RC、年次総会開催のご案内

日 時 12月3日(水)午後0時30分(例会時)

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

■委員会報告

【ニコニコ献金】

(親睦活動委員)

<会葬御礼> 溝口 善昭 会員

このたび父 溝口昭雄の葬儀に際しましては、ご多用中にもかかわらずご会葬賜り、また、ご丁重なるご厚志を賜り、誠にありがとうございました。七日毎の法要が水曜日になるので、例会欠席が増えるかもしれませんので、取り急ぎ書面にて会葬御礼させていただきます。

<誕生記念日祝(11月)>

千葉 直樹 会員 河村 知明 会員 城市 巖 会員

<配偶者様お誕生記念日祝(11月)>

小倉 豊 会員 梶野宗一郎 会員 高橋 弘史 会員

<結婚記念日祝(11月)>

木村 尚志 会員 中田 真光 会員

■プログラム

(ロータリー財団委員会)

「寄付の種類に関する講話」

ー ロータリークラブへの寄付の種類について ー



ロータリー財団委員会 梶安 雅満 副委員長

国際ロータリー財団への寄付は、国際的な奉仕活動を永続的かつ多岐にわたって支援するため、明確に種類分けされ運用されています。その寄付の種類、主な目的及び関連する認証制度についてご説明いたします。

国際ロータリー財団の活動を支える中核は、以下の3つの基金です。年次基金(Annual Fund) 年次基金は、国際ロータリー財団の寄付の中で最も中核的な基金です。この基金は、世界の地域社会での奉仕プロジェクト、奨学金プログラム、地区補助金やグローバル補助金といった活動を支援するために使用されます。現在、ロータリークラブの会員は、年会費の中から毎年日本円で5,000円が自動的に財団への寄付として振り替えられています。(これとは別に米山奨学会へ4,000円が振り替えられています) 恒久基金(Permanent Fund) 恒久基金は、ロータリーの将来のプログラムを永続的に支援する基金で、この基金の最大の特徴は、寄付された元本には手をつけず、その投資運用益のみを毎年ロータリー財団プログラムを支える活動資金として活用する点にあります。ポリオ・プラス基金(PolioPlus Fund) ポリオ・プラス基金は、その名の通り、世界からポリオを根絶するための活動に特化して使われる基金です。ロータリークラブでは、年会費とは別に、この基金に2,000円が徴収されています。

上記の主要基金の他に、特定の目的や形式を持つ寄付の種類が存在します。**冠名基金**：これは、一括で25,000米ドル以上を寄付することにより、寄付者が自分の好きな名前を付けた基金を設立することが可能となる制度です。**ロータリー災害救援基金**：これは、災害が発生した際に、ロータリー災害救援補助金を通じて活用されることを目的とした基金です。

年次基金などから拠出される資金は、特に大規模な奉仕活動であるグローバル補助金として活用されます。グローバル補助金として認定されるためには、つぎの3つの条件のいずれかに合致する必要があります。①**人道的プロジェクト**：地域社会のニーズに取り組み、持続可能で、かつ測定可能な成果をもたらす事業です。過去に帯広ロータリークラブがマレーシアの水道事業で活用した実績があります。②**職業研修**：専門職業人のグループを海外に派遣し、現地の指導や研修への参加を通じて、地域社会の発展と能力向上を支援する事業です。③**奨学金**：重点分野におけるキャリアを目指す人に対し、大学院留学の費用を提供する事業です。

寄付者に対しては、貢献度に応じた認証制度が設けられています。**ポール・ハリス・フェロー**：1,000米ドルの寄付を行った方

が受けることができる認証・表彰です。**認証ポイント**：100ドル単位で寄付をすると、その寄付者にポイントが付与されます。このポイントは、他のロータリアンへのPHF認証を支援するために利用でき、寄付額を倍にして寄付したと換算されるため（例：100ドル寄付+100ドルポイント=200ドル寄付換算）、効率的な寄付を可能にします。**メジャー・ドナー**：1万米ドルを超える寄付を行った方が受ける認証です。**ソサエティ**：ポール・ハリス・ソサエティは毎年1,000ドル、アーチ・クラブ・ソサエティは25万米ドル以上の寄付を行うと得られる認証です。ロータリー財団への寄付は、単なる資金提供ではなく、これらの多岐にわたる基金と認証制度を通じて、国際的な奉仕活動の継続的な基盤を築くために活用されているのです。

最後に、帯広RCには38名のポール・ハリス・フェローがおります。皆様から1,000ドルの寄付をいただければありがたいですが、まずは最低100ドル、1ドル/154円ですから15,400円の寄付をお願いします。これから、財団委員会のメンバーが各会員へ寄付のお願いに伺いますので、その際は快くお引き受け下さいようお願い申し上げます。

<p>ロータリークラブの寄付の種類</p> <p>(1) 国際ロータリー財団 (RI財団) への寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> - RI財団への寄付は、世界的な奉仕活動の資金源 <p>(2) 国内の関連財団・奨学会への寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> - 国内には、独自の公益財団法人や奨学会があり、特定の目的のための寄付 	<p>寄付の種類</p> <p>年次基金 - 今年を支えるに寄付</p> <p>恒久基金 - 未来を支えるに寄付</p> <p>ポリオプラス</p> <p>ロータリー災害救援基金</p> <p>グローバル補助金</p> <p>遺贈寄付</p>	<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>1. 年次基金 (Annual Fund) 概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリー財団の中核的基金 世界の地域社会での奉仕プロジェクト、奨学金プログラム (地区補助金やグローバル補助金) を支援するために使用 寄付者は「ポール・ハリス・フェロー」などの認証 (表彰) を受けることができる
<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>1. 年次基金 (Annual Fund) :</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点分野 寄付は、次の7つの分野の活動資金として活用。 <ul style="list-style-type: none"> - 平和構築と紛争予防 - 疾病予防と治療 - 水と衛生 - 母子の健康 - 基本的教育と識字率向上 - 地域社会の経済発展、環境 	<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>2. 恒久基金 (Permanent Fund) :</p> <p>利用可能な収益の一部が毎年、ロータリー財団プログラムを支える活動資金</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点分野 (年次基金と同様) 平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境 WF (国際財団活動資金) 特定の活動分野や使途を指定しない寄付。その時々で優先される活動に活用 	<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>2. 恒久基金 (Permanent Fund) :</p> <ul style="list-style-type: none"> シェア (ロータリー会員向け) 利用可能な収益の50%がDDF (地区財団活動資金) とWF (国際財団活動資金) にシェア 寄付の一部をクラブや地区でプロジェクトを計画して活用 ロータリー平和センター ロータリー平和フェローシップやセンターの維持費など、プログラム全体にかかる費用に活用 冠名基金 一括25,000米ドル以上で好きな名前を付けた基金 (冠名基金) を設立可能
<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>3. ポリオ・プラス基金 (PolioPlus Fund) :</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界からポリオ (小児まひ) を根絶するための活動への特化型寄付 ポリオ (急性灰白髄炎) は非常に感染性の高い病気、特に感染しやすいのは <ul style="list-style-type: none"> - 5歳未満の子ども - 日本では一般に「小児まひ」と呼ばれていた - 治療法はないが、ワクチンで予防可能 - ポリオ根絶は目前に迫るが、ポリオ発症が起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶ 	<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>4. ロータリー災害救援基金:</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリー会員による災害支援活動に役立てられる。 寄付は「ロータリー災害救援補助金」を通じて活用 <ul style="list-style-type: none"> - 特定の災害を指定することはできない。 - 大規模災害においては、専用基金が設置される場合がある。 	<p>国際ロータリー財団への寄付の種類</p> <p>5. 遺贈寄付:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 遺産の一部を、公益財団法人ロータリー日本財団を受取人として指定 - 寄付は恒久基金として大切に運用、収益の一部は長年受けてきたロータリー財団のプログラムを何年にもわたり支える。
<p>寄付の方法</p> <p>オンライン寄付 (1回限り、クレジットカード決済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリー日本財団では、日本円のみ対応 ロータリーウェブサイトからオンライン寄付 (クレジットカード決済) が可能 確定申告の対象、領収証は日本円寄付にのみ発行可能 個人及び法人にて寄付可能 	<p>寄付の方法</p> <p>銀行振込</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人からの寄付の場合、銀行振込にて対応可能 所属クラブを通じての寄付も可能 	<p>税制上の優遇措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリー日本財団への個人、法人からの寄付は、公益目的事業を支援するために支出された「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、所得税、法人税、相続税及び条約による地方税の優遇措置が受けられる。 個人の寄付金に対する優遇措置は、「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択可能

■出席報告

会員総数:91名 (内 免除会員2名)

出席者数:61名 (内 免除会員1名 内zoom参加者6名)

本日の出席率:67.8%

■次週プログラム予定

11月19日 (水)「イニシエーションスピーチ」新会員卓話

(プログラム委員会)

中田 真光 会員・小川 洋輝 会員

「米山記念奨学生卓話」 鳥達木 様

11月26日 (水)「ハラスメントに対する危機管理」

(中長期ビジョン委員会)

木野村英明 副委員長



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 三谷 郁央 副委員長 / 佐藤 真康・大友 一弘

委員 / 荒井 純一・石原 宏治・林 浩史

●ホームページアドレス <https://www.obihiro-rc.jp> ●facebook <https://www.facebook.com/obihiro.RC/>